

事後評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会

平成27年7月24日（金）

研究課題	LED単波長光照射が動植物の生体に及ぼす影響と利用技術に関する研究	
研究期間	平成24年度～26年度	
	評価項目	平均点
	1 研究課題選定の妥当性	4.0
	2 目標の達成度	3.4
	3 研究成果の活用及び実用化の可能性	3.0
	4 今後の発展性	3.4
	5 総合評点	3.5

LED単波長光が動植物の生体に及ぼす影響を洋ランと鶏について検討し、その効果が判明したことは、光源の開発も含め、今後の実用化が期待できる。

単波長光の照射効果の詳細な解析は重要であり、反応の最適な関係について、なお一層の研究が必要である。

また、この研究の成果が当初の目標に対してどのような位置づけになるのか、また今後、どのように展開されるのかが不明である。そのため、生産農家を対象とした実用化を目指して具体的な課題を明らかにし、継続して取り組んでいく必要がある。